

はんちゅーナーズ便り



Vol.5 発行人 看護部長室

8月22日(火)に、健康セミナー夏休み企画で子供たちを対象に「看護師体験」イベントを行いました。

実際に看護師の白衣を着て、手洗い体験、きれいに洗えているかを紫外線ライトを当てて確認したり、AED体験で命の助け方について教わりました。お母さんに患者役になってもらい、傷の手当、包帯の巻き方、心臓の音を聞く、血中酸素濃度を測るなどのレクチャーも受けました。

骨のパズルや体の仕組みのパズルもあり、盛りたくさんの内容でしたが、子供たちの笑顔が多く見られ、医療従事者への興味が深められたのではないかと思います。今後もみんなに喜んでもらえる企画を考えていきます



おめでとう!

新しい指導者が
加わりました

2023年度奈良県指導者講習会を受講していた清水紅美さんが認定されました。

清水さんは阪奈中央看護専門学校の卒業生です。とても穏やかでしっかりした看護を行うスタッフです。

清水さんに抱負を聞いてみましょう。

臨地実習指導の意義と指導者としての役割を学ぶことができました。学生の思考を促し、実習での学びにつなげていけるように指導していきたいと思います。また、指導を通して自分も成長していきたいと思います。

教育担当者からのお知らせ

インターンシップ開催

インターンシップ4名の受け入れを行いました。普段は見ることができない看護師同士の関わりや、手術室での介助なども見ることができました。

高校生看護師体験受け入れ

夏休みに高校生の看護師体験の受け入れを行いました。皆さん看護師志望ということでした。ぜひ頑張ってくださいね。

新人ローテーション研修開始

4月に入職して、はや5ヶ月が経過しました。夜勤勤務も行うようになり、成長が見られることが嬉しく、また頼もしく思います。

今月から、自分の学びたい部署を2か所希望して研修を行っています。手術室が特に人気です。

配属部署で学べないことが体験でき、また所属部署の看護に生かすことができたらいいですね。



部署の自慢 今回は、3A 病棟

1 一人一人が自律していてチームワークがよい

2 お互いを思いやり気配り心配りができる

3 優しい看護ができる

今月の看護部長のひとこと

先日、患者さまがリハビリも進まず、病状も良くならない中でイライラされたのか、少しのすれ違いでスタッフの顔を叩いてしまうという事がありました。

スタッフは、恐怖なのか驚いたのか泣いてしまい、忘れることはできない体験になってしまいました。この経験から学ぶことも多くあります。私の体験ですが、看護学校に入学したての、5月12日ナイチンゲールの日に、手作りのマスコットとメッセージカードを手に患者さまを訪問しました。しかし、患者さまにマスコットとカードを投げつけられ「帰れ!」と言われました。ほかの学生はみんな喜んでもらっていたので、その時はとても辛くて、もう辞めようかとも思いました。でも、その時の経験から学ぶこともありました。それは患者さまには「してあげている」でなく「気持ちを汲み取ってケアする」ということです。暴力は絶対ダメです。みんなのことは、病院が守ります!!でも、患者さまがそうせざるを得なかったことは汲み取りたいと思います。負けないで、一緒に考えていきましょう。

9月の行事

引き続き、インターンシップ、病院見学会を随時行います。